

これからの
医学部
受験

主催：朝日新聞社メディアビジネス局

特別協賛：**名門会** 家庭教師センター

紙上採録 **医師を志す高校生のための**
医学部進学ガイダンス

9月23日、大阪・梅田のハービスホールで「医師を志す高校生のための医学部進学ガイダンス」を開催。陸上日本代表のチームドクターを務めた櫻庭景植先生の講演や、医学部受験のプロが語る受験の最新情報などの貴重な話に多くの来場者が真剣に耳を傾けていた。



第1部 講演

トップアスリートの
医科学サポート
〜ドクターの立場から〜

順天堂大学名誉教授

櫻庭景植氏

医療は人のケガや病気など負の要素を元に戻す、このような事が多いのですが、我々スポーツドクターの務めは、選手競技力向上のために医科学支援をすること。それがスポーツ医科学の目指すものと考えています。

現在、私が行っているのは、トップアスリートの医科学サポートです。ロンドンオリンピックでは、チームドクターとして同行しました。主な仕事はメディカルチェックやコンディショニングです。会場に行つてから、ケガや体調不良で出



さくらば・けいしよく／専門はスポーツ医学（特にスポーツ外傷・障害、筋力特性、疲労骨折、コンディショニング）。これまで、世界陸上競技選手権、2012年ロンドン五輪、14年世界リレー大会のチームドクターをはじめ、オリンピック金メダリストなどのトップアスリートをサポート。現在、日本オリンピック委員会強化スタッフ（スポーツドクター）を務めている。

場できない、ということがないよう、本人だけでなく指導者からも事前に多くの情報を集めます。

選手が出場できるかの判断を求められることもあり。当然、選手は出たい。そういうときは、選手と同じ土俵に立つて考えることが大事です。将来のことなどについてもきちんと話し合つて判断します。

オリンピックの陸上チームに所属ドクターが同行したのはロンドン大会が初めてでした。それだけ医科学が見直されてきたと言えますが、競技力向上のためにスポーツドクターとして何が出来るかはまだ未知数です。

一生学び続ける
覚悟を持つこと

医学部を目指す人は、なぜ医師になりたいかをよく考えてください。お金を稼ぐため、という人もいますが、そういう人は、ベンチャーやコン

ピューター関係の企業に就職した方がいいでしょう。また、医師の社会的地位や名誉もだんだん低くなってきていると思つてください。

医師になるには、社会貢献という意識が大事です。人が幸せになるための小さな手助けをする。それが自分の心の救いや幸せにもつながっていくのです。地位、名誉、お金だけを求めているのは、医師になれたとしても、寂しい人生になると思います。

そして医師を目指す皆さんに覚えてほしいのは、医学部合格が終わりはしない、ということ。入学してから、さらに医師になつてからの勉強がとても大切です。高い学力は必要ですが、それだけの医師では良くありません。最近受験でも面接を重視するようになっていまして、一生勉強し続ける覚悟を持って、医師を目指してほしいと思います。頑張ってください。

第3部 講演

最新の入試情報から見た
医学部受験の攻略ポイント
〜合格を勝ち取るために押さえない情報〜

名門会家庭教師センター
医学部受験指導責任者

鈴木博氏

難化する医学部受験で大切なのは、制限時間内に合格ラインを上回る点数を取る得点力です。得点力を磨くには演習量が重要になります。現役生は、単元学習と弱点克服を早めに終わらせましょう。反復練習して、問題集の例題と標準レベルの問題は瞬時に方針決定して正解できる力をつけてください。

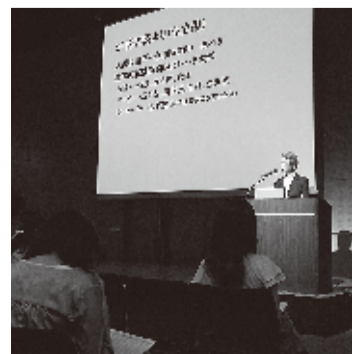
受験校を早く決めることも大事です。決定後は、過去問を用いて合格ラインを突破するための戦略・戦術を確認します。「試験時間」「問題構成」「難易度構成」などを見てください。

入試問題について、難易度を4段階で考える問題構成例を紹介します。合格のためには、まず基本のAと標準的なBをミスなくスピーディーに解く。大事なものは、応用レベルのCと難問Dを見極めて、Dには手を出さないことです。Cの半分を正解すれば7割の合格ラインに届きます。

また小論文と面接もしっかり準備してください。面接では、コミュニケーション能力が試されます。小論文は書き方の型があるので、月に1度は添削指導を受けるようにしてほしいですね。

中学生時代から
早めの準備を

医学部を目指す中学生もいると思います。中学生のうちからやっておきたいのは、国語



と社会を軽んじないで、読解力と論理的思考力を習得することです。さらに幅広い教養と常識を身につけることも大事。そして英語に力を入れてください。基本的な文法を早めに身につけておくと、後々楽になります。

勉強だけではなく、いろいろな経験を積むことも大切です。映画を見たり、読書をしたり、部活動に励んだり。こうした経験が柔軟な発想力にもつながります。

高2までをやっておきたいのは、英語を早く仕上げることです。英語は失敗が少なく、学力がほぼそのまま得点に反映されます。さらに配点の高い理科も、高2の夏には受験に向けた勉強を始めた方がいいですね。また評定平均は高2まででほぼ決まるので、推薦入試を考えている人はしっかり準備しましょう。

医学部の関係者からは、受験勉強ができて、医師としての適格性、人間性に欠ける人は採りたくない、という話をよく聞きます。ですから勉強だけではなく、人間性を磨き、視野を広げることも意識してほしいと思います。

第2部 講演

医学部入試は
どうなつていくか
〜大学入試制度改革の影響は〜

大学通信 常務取締役
情報調査 編集部ディレクター
マネージャー

安田賢治氏

私立大学の約35%で定員割れを起こしていること、さらにAI（人工知能）やグローバル化などの社会変化に対応する教育を行うため、2020年度から大学入試改革が実施されます。大きな変更は、センター試験が廃止され、大学入学共通テストが

ターゲットです。具体的には、国語と数学に記述式が導入されます。数学は答えを書く問題が3問程度加わります。途中式は採点されません。国語は、大問が二つ、答えを50〜120字で記述するものが3問ほど増えます。おそらく、「〇〇とい



やすだ・けんじ／早稲田大学政治経済学部卒業後、大学通信入社。現在、大正大学で非常勤講師も務める。「君はどの大学を選ぶべきか」などの大学案内書・情報誌や、「中高受験年鑑」をはじめとする中学高校案内書・情報誌を編集。著書に「中学受験のひみつ」（朝日出版社）、「笑うに笑えない大学の惨状」（教育費破産）（祥伝社）。

う言葉を使つて答えなさい」のような、条件付きの問題が追加されると思います。大きく変わるのは英語です。これまでの「読む」「聞く」に「書く」「話す」をプラスした4技能が求められます。試験は、英検、TOEFL、TOEIC、ケンブリッジ英検、GTECなど民間のものを活用。高3の4〜12月に受験した2回までの結果で、高得点の方を共通テストの成績とします。そしてCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の6段階で評価されます。

学力だけでなく
人間性も重要

主体性も問われます。調査書は電子化される予定で「JAPAN e-Portfolio」やポータルサイトに、探求活動や課題研究に関する学び、部活、ボランティア、生徒会の活動などを記入する。事実だけではなく、そこで気づいたことや、勉強したいと思つたことも

書かないといけません。そのデータを先生が承認して大学に提供します。「医師に向いているからぜひ来てほしい」と大学が判断した場合は、入試結果よりもこちらを優先する可能性もあります。そのため高校時代は勉強だけではなく、部活やボランティアなど様々な活動に取り組みることが大切です。また、AO入試が「総合型選抜」、推薦入試が「学校推薦型選抜」に名前が変わり、学力も問われるようになります。一般入試でも主体性が評価されるようになるため、三つの入試の違いがなくなつてくると考えられます。

今後の医学部入試ですが、おそらく来年も文系の人気が高く、難易度は昨年並みでしょう。また20年は、翌年の大学入学共通テストを見据えて安全志向が強まる。そして21年は新テストの導入で国公立離れが起き、私立大学の人気が高くなると考えられます。



すずき・ひろし／京都大学卒業。2018年度医学部入試236名の合格実績をもつプロ教師集団「名門会」の教務責任者。特に医学部合格戦略に精通し、生徒一人ひとりの医学部合格カリキュラム作成のノウハウをもとに、「医学部に強い名門会」を確立している。